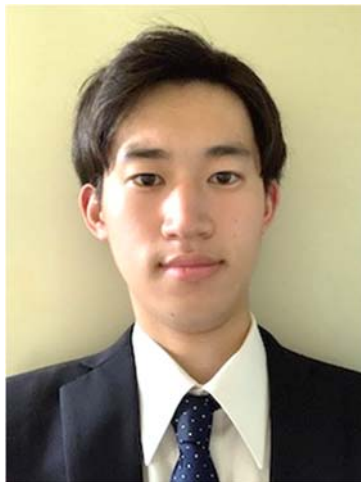


岡山県青年会会報

発行者 岡山県青年会
編集 集公益財団法人備中館

岡山県青年会学生幹事長挨拶
令和元年度幹事長 浦上 洋平



岡山県青年会は東京に居住する岡山県出身者の大学生を対象とする「通常会員」とご支援くださる「特別会員」で構成されている会です。
運営にあたっては、都内に設置されている岡山県出身者のための四つの学生寮、育英会東京寮、精義塾、備中館、鶴山館の学生が中心となっており、四寮は、野球大会・フットサル大会・青年会総会・岡山県人会等の交流を通し、互いに切磋琢磨し、各々の道に向かい大学生生活を有意義

に謳歌しております。近年では岡山県と岡山県青年会の共催である「おかもま業界研究会」も行われ、学生寮在籍者は勿論のこと、一般学生の参加もみられ、学生にとって有用な行事として親しまれております。このような環境を与えて頂いている関係者の皆様に、感謝の気持ちを忘れず日々邁進しております。

また、青年会を通じ、県ゆかりの各界でご活躍の方々へと世代を超えた交流をさせて頂くことで、多くのことを学ばせて頂いております。この貴重な経験も郷土の先輩方のこれまでのたゆまぬ努力のおかげであり、学生一同大変感謝しております。

四つの学生寮は、その全てを学生自身が主体となり、活発な話し合いのもとで規則や行事をはじめとする取り組みを作り、またより良き寮にするべくさらに熱く議論を交わし、自分たちで寮を作っていくものであります。

しかし、今日の学生寮を取り巻く環境は非常に厳しいものであると感じます。伝統的な学生寮に入寮を希望す

る学生が減少するとともに、寮生においても寮を担う者としての自覚が希薄になってきているように感じられます。この現状を受け、寮を担う学生寮在籍者が組織を積極的に活性化させようとする気風というものを育て上げるべきであり、またそれを浸透させていかねばならないと思います。

また、通常会員のほとんどが四寮の在籍者であり、寮以外からの一般学生が非常に少ない状況です。これは貴重な経験を積む機会を逃している一般学生にしても、切磋琢磨できる優秀な仲間を失っている学生寮在籍者にしても、望ましい状況とは言えません。私は、学生会員の裾野を広げていくことが幹事長として一つの大きな使命であると考えております。

以上、岡山県青年会へのつる思案を述べさせていただきました。今後とも支えていただいている諸先輩の皆様にはご迷惑をおかけすることもありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

卒業生と新入生の状況

平成31年3月には、青年会から22人の学生が社会へ巣立っていきました。一人ひとりが、青年会活動を通して学んだことを活かして、更なる成長を遂げることを祈っております。

■平成30年度 卒業生の状況

	首都圏	岡山県	その他地域	計
育英会東京寮	5人	1人	0人	6人
鶴山館	9人	2人	0人	11人
精義塾	2人	0人	1人	3人
備中館	0人	0人	2人	2人
合計	16人	3人	3人	22人

4月には、新入生が加わり、青年会
通常会員(学生)は98人となりました。

異なる価値観を持った学生達が相
互の理解を深め、様々な困難や喜びを
体験することができるのも青年会な
らではです。多くの友人と交わり、自
己研鑽の場として活用されることを
期待します。

平成30年度 岡山県青年会総会

平成30年12月3日(月曜日)の夕刻、
岡山県と鳥取県の共同アンテナショ
ップ「とつとり・おかやま新橋館」(港
区新橋)において、各界で御活躍され
る郷土岡山県出身の諸先輩方にも多
数お集まりいただき、岡山県青年会総
会を開催しました。

総会は宮原耕治会長(日本郵船(株)
相談役)の挨拶で始まり、山本景斗学
生幹事長の挨拶、出席者の紹介、総会
議事(事業報告、会計報告など)を行
い、全ての議事が承認されました。

引き続き行われた講演会では、日
刊スポーツ新聞社編集局付部長の久
我 悟氏(里庄町出身)から、御講演
をいただきました。

平成2年に入社後、文化社会部時代
は芸能記者として、安室奈美恵さんを
はじめとするミリオンセラー続出の
歌謡界の取材を担当され、その後、平
成10年からは野球部に異動し、松坂大
輔投手の在籍した西武ライオンズの
担当やメジャーリーグの取材を通し、
マリナーズのイチロー選手、メッツの
松井稼頭央選手、ドジャース野茂英雄
投手、石井一久投手らの活躍を追って

こられた御経験をユーモアを交えな
がらお話しいただきました。

多くの情報であふれる現代で、生の
情報を聞き、正しい情報を取得・発信
することの大切さを学ぶことができ
ました

講演後、学生を代表して、山本景斗
学生幹事長がお礼を述べるとともに、
「情報リテラシーを高めていきたい。」
と力強く抱負を述べました。

その後、行われた懇親会は、頃安健
司副会長(TMI総合法律事務所顧問)
の発声による乾杯で始まり、会場を大
いに盛り上げた学生会員の余興や岡
山食材をふんだんに使った美味しい
食事を楽しみながら、先輩方や同輩達
と歓談の輪を広げ、親睦や交流を深め
ました。最後に守分宣副会長(株)オ
カムラ監査役)による中締めをもって、
盛況のうちに総会は終了しました。



日刊スポーツ新聞社
久我悟氏による講演



学生による余興



懇親会の様子



宮原会長挨拶

令和元年度 会員の状況 (平成31年4月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	大学院	計
育英会東京寮	14人	10人	6人	9人	5人	44人
鶴山館	3人	3人	5人	8人		19人
精義塾	7人	3人	2人	4人		16人
備中館	1人	3人	3人	5人	2人	14人
寮生以外	1人	2人	2人			5人
合計	26人	21人	18人	26人	7人	98人

平成30年7月豪雨災害支援活動

「平成30年7月豪雨」では、河川の氾濫や土砂災害等が発生し、岡山県内では60名を超える方の尊い生命が失われました。

青年会では、首都圏で生活する自分たちが、故郷岡山のために、今何かできるかを話し合い、7月13日(金曜日)から20日(金曜日)にかけて、渋谷、品川、新橋、池袋の各駅前にて、募金活動を行いました。温かい声掛けとともに皆さんからお寄せいただいた募金45万5,161円は、日本赤十字社岡山県支部へ義援金として送金しました。



渋谷駅での募金活動の様子

球技大会 & 業界研究会

青年会では、会員相互の親睦を図るため、フットサルやサッカー大会などの球技大会を行っています。

平成30年11月4日(日曜日)、鶴山館コート(西東京市)において、フットサル大会を開催しました。

約30名の学生会員が参加し熱戦が繰り広げられました。

その後、会場を鶴山館ロビーに移し、フットサルの打ち上げを兼ねた懇親会を開催し、交流を深めました。

平成31年1月19日(土曜日)、都道府県会館(千代田区)において、首都圏在住の大学生に県内企業の情報を提供いただき、今後の進路検討や社会人としての心構えを学ぶ「おかやま業界研究会」を岡山県と連携し、企画・開催しました。参加した約40名の学生は、製造、建設、百貨店、不動産、金融、マスコミ、公務それぞれの業界の特徴や近況を担当者に説明してもらい、質疑やインタビュースキップの相談にも応じていただきました。



フットサル大会集合写真



フットサル大会(鶴山館コート)



業界研究会会場の様子



企業担当者との質疑応答

世代を越えた県人との交流

青年会では、学生同士だけでなく首都圏で活躍されている先輩方との異世代交流会・懇親会等に積極的に参加するとともに、スタッフとして準備・運営にも関わります。

平成30年9月7日（金曜日）には、ザ・キャピトルホテル東急（千代田区永田町）において開催された在京の岡山県出身者等の親睦を深める「県人の集い」に13名の会員が参加しました。

当日は、運営スタッフとして、参加者お土産品の準備やステージ補助、抽選商品受け渡しなどの業務を担いました。

また、岡山ゆかりの年配者と若者との世代を超えた交流の場となる「吉備クラブ」には、各回で多くの会員が参加しました。各界でご活躍の先輩方から大変興味深いお話を聞くことができるよい機会となっています。

○第38回

開催日：平成30年7月23日（月曜日）
講演会：講師 沖 修司（林野庁長官）
参加者：18名

○第39回

開催日：平成30年11月1日（木曜日）
講演会：講師 宮原耕治（岡山県青年会会長・日本郵船（株）相談役）
参加者：5名

○第40回

開催日：平成31年2月25日（月曜日）
講演会：講師 八田 斎（ライフネット生命保険（株）常務取締役）
参加者：14名

（開催場所は、いずれもKKRホテル東京（千代田区））

県人会会場の様子



県人会での募金活動



県人会抽選会ステージお手伝い



吉備クラブ懇親会の様子



吉備クラブ講演会



近況報告 育英会東京寮

岡山県育英会東京寮の近況報告をさせていただきます。

東京寮では、ここ2年間で入寮生の増加が著しく、「このままいくと廃寮か」と噂された停滞期から回復を遂げています。今年度は新たに14人が加わり、上は平成6年生生まれから下は平成13年生まれまでと幅広い年代の寮生44人で、同じ釜の飯を食べながら生活しています。

寮の行事としては、令和になった現在でも毎年6月に山手線ハイクや11月に寮祭などを行なっていますが、それぞれの内容は時代の流れに合わせて、月に一回の総会などで話し合いをし、変更させていきます。実際、今年の山手線ハイクではいくつかの点が変更され、寮祭についても7月の総会で様々な議論を重ね、内容の変更が決定されました。

また、町内の祭りや餅つきへの参加を通して、地域の方々との交流も活発におこなっています。

現在の東京寮では、総会を始め、積極的に意見を言う寮生が目立ち、寮を変えていこうという雰囲気が出級生

を中心に現れています。東京寮は令和という新しい時代の幕開けとともに、その時代にふさわしい姿になってきつつあるように思います。

改元に加え、このような寮内の新しい動きもあり、より時代の変遷を意識するようになりました。次は令和の時代を歩んでいくことになる東京寮ですが、さらなる発展を目指し、寮全体が一丸となってより良い東京寮をつくり上げていきたいと考えております。今後ともよろしく願います。

3年生 藤原大燿



近況報告 鶴山館

鶴山館の近況報告をさせていただきます。今年度は4名の新入館生を迎え、総勢20名で活動しています。例年より少ない人数とはなりましたが、今年の新入生も多様で面白い学生がそろっており、大学や出身高校の異なる学生が、岡山県出身ということだけで一堂に会し共同生活を送っていく中で、それぞれが日々励んでいること、それぞれが興味を持っていることに対して刺激を与えあい、受けあいながら切磋琢磨しています。

平成から令和へと元号も変わり、平成の開幕とともに保谷に移転した鶴山館からしても、また変革のときを迎えています。昨年中に完備された寮室の「三上」を筆頭として、今年も、大幅な風呂の改修工事も執り行われ、より寮生活を快適に送れる環境へとさらなる進化を遂げています。また、移転から30年を過ぎ、設備の欠陥も見え始め、それに対する改修工事の計画も進んでおり、学生の寮生活の過ごしやすさと寮そのものの現代化を、財団と学生自治会が一丸となって実現にむけて動いている最中です。

鶴山館学生自治会の構成員は時間とともに変化していきますが、かつての寮生の魂は寮に残っています。その魂を伝統として受け入れるとともに、時代の変化に適応するべく、改善すべき点は学生間でも意見を出し合って改善し、さらなる良い寮へと前進を進めています。

学生寮は、学生それぞれの目標達成の拠点となりうる場所です。様々な行事や交流などにより、鶴山館はその拠点となるべく活動していきます。

2年生 内田充紀



近況報告 精義塾

公益財団法人精義塾は、岡山県出身または岡山県に縁故のある男子学生のための寮です。当塾は1883年の創立以来、多くの優秀な人材を輩出しつつ、現在も引続き健全な運営を続けていますが、その背景としては次のような特徴が指摘できます。

1. 学生（在塾員と呼ばれます）が20名程度に過ぎず、それだけ親密な交流を通じた切磋琢磨が可能であること。

2. 公益財団法人としての重要な運営事項は、精義塾出身者（塾外員と呼ばれる）の役員陣による無償の努力で解決に当たる一方、日常生活上の運営事項は在塾員の役割分担と合議に委ねられており、在塾員の自主性を極力尊重していること。

3. 在塾員が塾外員を訪問するなど、在塾員と塾外員との交流も盛んで、優れた塾外員の指導を受けやすいこと。
現在1年生7人、2年生3人、3年生2人、4年生4人の計16人で精義塾を運営しています。

精義塾には週間行事と年間行事があります。週間行事では、毎週月曜日

に行われている塾員会議を行っています。精義塾は自治ですので学生自らが寮を運営しています。週に1度の塾員会議というものがあり、そこでいろいろな取り決めをします。また、塾員会議にすべての決定権があります。塾の会計や備品の管理購入のことなども学生がおこないます。

年間行事は、花見、新歓、塾員旅行、パーティーなど様々な行事がありますが、中でも総会と予餞会が精義塾の中で最も重大な行事とされています。総会と予餞会ともに、大勢の塾外員の方たちが寮に來られます。塾外員の諸先輩による様々な講義、卒業する塾生らの餞別の挨拶、そして歓談などが行われます。

2年生

重定恭悟



岡山県マスコット
「ももっちゃん・うらっちゃんと仲間たち」

近況報告 備中館

今春備中館では卒館者2名、入館者1名となり、現在14名の寮生を中心に活動しています。例年に比べ、新入生が少ないですが、その分、密に交流を行っております。昨今の備中館の近況を簡単に紹介させていただきます。

まず、寮内での生活の様子を簡単に説明すると、備中館は卒館された方々のご支援を受けつつ学生中心で運営される自治領で、普段は共有空間での生活を共にすることで寮生間の交流、仲を深めています。先日には各部屋にエアコンが完備され、以前にも増して快適な寮生活を送ることができるようになりました。

また、寮の規律や開催イベントなどを話し合う場として、総会を定期的に開催しており、各寮生がより良い寮生活を送られるように努めています。寮で開催する行事としては、新入生を迎える入館式、卒館者の門出を祝う卒館式、寮創立を祝う記念祭、またこれらの式典の前日に開かれる寮生でのパーティー、日帰りで行われる春期旅行と泊まりがけで行われる冬期旅行があります。加えてバーベキューや花火、

鍋パーティーやボウリングなど各自が考えたイベントも定期的に行われるようになっております。これらのイベントは既館生にとってはもちろんのこと新入生にとっても、寮の雰囲気を感じることであったり、他学年の人との交流を深めたりすることができるとの絶好の場として有意義なものとなっております。

3年生 雪上智紀



育英会東京寮の先輩から

4年間お世話になった高輪にある岡山県育英会東京寮を卒業して早くも数か月が経とうとしていることに驚いています。後輩からこの文章の執筆を依頼された際に卒業したことを強く実感しました。思い返せば、平成27年3月、生まれ育った岡山を離れ、東京寮に青春18きっぷを使って鈍行で来た最初の日のことを思い出します。

東京寮で思い出に残ることは、何と言っても毎月一回、第一土曜日に行われる寮生総会です。寮の最高決定機関として、脈々と続く重要な会議の時間です。1年生の時には、学生だけで意思決定をすることに強く衝撃を受けました。実際の会議は、寮生として先輩にも臆せず意見し、寮が良くなるために各々の信念を擦り合わせる場、とはかけ離れていました。上下関係に裏打ちされた寮の伝統は、とても書けるものではありませんが、これは恐ろしい場所に来てしまったと思つたものでした。そんな中で寮生委員長に選ばれ、1年生から恐る恐るではあるものの発言し、全体をまとめる責を担いま

した。月初めの土曜日が来ることはどこか不安で、1、2年次は押しつぶされながらの生活でした。そうした厳しい環境の中での経験は臆せずもの考える力を養ってくれたと思つていきます。

私が在籍した4年間で入寮時と比べ、寮はかなり柔和な雰囲気になったと感じています。大変な時期もありましたが、今いる寮生が時代に合わせて伝統と闘いながらより良い方向へ寮を導いてきた成果であると感じています。

天野風吾（平成30年度卒業）

鶴山館の先輩から

鶴山館を卒業してからも半年が過ぎました。私はその後東京を離れ、今熊本にいます。海藻の仕入れ、加工、販売を行う会社の新人営業マンとして日々勉強しております。思い起こしてみると、寮にいたころも勉強ばかりしていたような、気が、します。

勉強の話はさておき、先輩からのメッセージというところで、何か今の寮生の

ためになるようなことを書かなくてはと考えてはみたのですが、私もまだまだ経験が足りないもので、人生のアドバイスなどはできません。そこで私が寮生活、ひいては人間関係において大切にしていることを書きたいと思えます。

それは「先輩を敬うこと。後輩を面倒と思わないこと。同期を何より大切にすること。」です。私はこのことを常に意識しています。こんなことは当たり前だと思う人が大半だと思います。私もそう思います。しかしこれがなかなか当たり前にできないのです。例えば、

優しい先輩にはつい甘えたり礼儀を欠いてしまったりになったりします。後輩の失敗をフォローするのが億劫だったことがあります。同期には頼りっぱなしでその恩を忘れてしまいうことになることや、わがままを言ってしまうようになることがあります。まいそうになることがあります。

実のところ、この当たり前のことを実行できたからと言って、自分に何かいいことが起こる訳ではないと思えます。そうは思うのですが、実行できるとき自分の人間性が強くなったような、簡単に言えば「良い奴」になった

ような気がして私は好きです。自己満足です。それでいいと思います。

寮に限ったことではないですが、人間関係の潤滑なくしては幸せに暮らすことはできないと思います。今なにか人間関係で悩むことがある寮生は、もしよければ私の例を参考にして、まず自分が変わってみるのはいかがでしょうか。

末筆ながら、岡山県人寮のさらなるご発展と、皆様の幸せな寮生活をお祈り申し上げます。

小島勢矢（平成30年度卒業）

備中館の先輩から

昨年の夏は非常に暑く、備中館で過ごしていた時は寝苦しい日が続いていた記憶が鮮明に残っています。今年は冷夏と言われているだけあって、去年に比べるとまだ快適な日々を寮生達は過ごしているのではないかと思えます。しかし、梅雨が明けてから本格的に暑くなってくるとも聞いています。なので、油断せず水分補給等行って元気に今年の夏も乗り切って欲しいと

思います。

大学の4年間はあつという間に過ぎる。と、いろんな人から聞くと思いますが、本当にその通りです。上京して、備中館に住み始めたのがつい最近のことのように覚えていきます。備中館の4月に開催される恒例行事の「花見」

では同期の藤原君と苦しい顔で終えました。そんな思い出をはじめ、先輩、同期、後輩たちと旅行に行ったり、テスト期間が終わってからみんな飲みに行ったりなど、寮での何気ない日々が良い思い出です。そんな備中館での生活を通して学んだこととして、先輩や後輩とのコミュニケーションの取り方、社会人になっていく上で必要な基礎的なマナーや言葉遣いが挙げられますが、自分の中で一番学んだことは自分のペースにあったお酒の飲み方です。私は営業という職種上、お客さんとの付き合いは欠かせません。接待で食事やゴルフに行くなど、今後必ず私も経験します。そういった際に、寮生活で学んだ目上の人、お酒との付き合い方やマナー、話のネタとして備中館での思い出を話したり、全て活かせることができます。そのため

にも、あつという間に過ぎ去るという

ことを念頭に、残りの時間を悔いが残らないよう楽しく過ごしてください。

(単位はちゃんと取ろうね☆)

長くなりましたが、備中館の益々のご発展と、寮生のご活躍を祈念しております。

薬師寺亮太(平成30年度卒館)

とっとり・おかやま新橋館

岡山県、鳥取県自慢の特産品の販売はもちろん、両県の地元食材を楽しめるレストランもあります。

<http://www.torioka.com/>



青年会 新規会員の募集!!

岡山県青年会の通常会員は、岡山県出身の学生です。男女は問いません。

育英会東京寮、鶴山館、精義塾、備中館に入寮している学生以外の方も、岡山県青年会に入会いただけますので、学校や知人等で入会を希望される学生がおられましたら、最寄りの下記問い合わせ先へご連絡ください。

入会金は不要で、学生の方(通常会員)の年会費は無料です。

維持会費(年会費)納入のお願い

学生寮を単立っていかれた先輩方や、岡山県出身の学生を応援くださっている方に。特別会員になっていただき、岡山県青年会の運営のご支援をいただいています。特別会員の皆様には、青年会の維持会費(年会費)として、一口5千円のご支援を今年もよろしくお願いいたします。

【連絡拠点】

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館 10階岡山県東京事務所

TEL:03-5212-9080 FAX:03-5212-9083

鶴山館

〒202-0013

東京都西東京市中町5-10-8

TEL:0424-22-5951

【HP】<http://kakuzankan.org>

備中館

〒112-0001

東京都文京区白山4-8-4

TEL:03-3947-1549

【HP】<http://備中館.jp/>

学生寮の問い合わせ先

〒108-0074

東京都港区高輪3-14-21

TEL:03-3441-3195

【HP】<http://www.okayama-ikueikai.jimusho.jp/ryo01.htm>

東京育英会

精義塾

〒112-0006

東京都文京区小日向1-21-13

TEL:03-3947-6565

【HP】<http://www.seigijuku.org/>